

会 議 録

会 議 名	第1回 (仮称) 八王子市交通マスタープラン検討委員会	
日 時	平成25年11月26日(火) 14:00~16:00	
場 所	八王子市保健所別館 1階会議室	
出席者氏名 (敬称略)	委員	鹿島茂委員長、駒沢広行委員長代理、中島静雄、長谷川久、鈴木律子、宮瀬睦夫、田村央、渡邊治平、大山光春、古屋幸一、西山徹、肥塚知成、寺尾一彦、立石努、三木健明、内田瞭、木内基容子、伊藤達夫、志村勝、西山忠
	事務局	坂倉進 次長兼交通企画課長、大木昇、島田涼子
欠席者氏名	高山恒明	
議 題	(1)会議及び議事録の公開について (2) (仮称) 交通マスタープランの策定及び改定の考え方、主な課題について (3)八王子市における交通特性について (4)その他	
公開・非公開・別	公開	
非公開理由	—	
傍聴人の数	なし	
配布資料名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の次第 ・ 委員名簿 ・ (仮称) 八王子市交通マスタープランの策定について・・・資料1 ・ (仮称) 交通マスタープランの策定について・・・資料2 ・ 改定の考え方・・・資料3 ・ 八王子市における交通特性・・・資料4 ・ 八王子ビジョン2022の関連施策及び、現在の交通体系の主な課題・・・資料5 ・ 既存アンケート調査結果・・・参考資料 	

会議の内容	<p>1. 部長挨拶</p> <p>2. 委員紹介</p> <p>3. 委員長挨拶</p> <p>4. 議事</p> <p>(1)会議及び議事録の公開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開することが決まった。 <p>(2)資料説明について</p> <p>【事務局】資料1～3及び資料5について説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)八王子市交通マスターマスタープランの策定について(資料1) ・(仮称)交通マスタープランの策定について(資料2) ・改定の考え方(資料3) ・八王子市における交通特性(資料4) ・八王子市ビジョン2022の関連施策及び現在の交通体系の主な課題(資料5) <p>●八王子市における交通特性(資料1～3)について意見交換</p> <p>【委員】資料2「平成16年度～25年度の主な成果図」だが、都道169号線の石川町交差点から宇津木交差点までの区間は、今年度事業認可を取得した。</p> <p>また、町田街道の中央線より南側から東浅川交差点までの区間は、昨年度事業認可を取得している。最新の情報に修正して頂きたい。</p> <p>【事務局】修正する。</p> <p>【委員】資料5「八王子ビジョン2022」の関連施策として、道路アダプト制度の推進とあるが、八王子市でどのくらい実施されているか。</p> <p>【委員】約1,600名、51団体が加盟し、主に低木類の管理等を行っている。</p> <p>【委員】東京都でも道路アダプト制度の仕組みはあるが、登録が進んでおらず八王子市管内では5団体しかない。都も加入を促進するが、市でも参画を促してほしい。</p> <p>【委員長】市民にとっては国道、都道、市道など道路の管理者が誰であろうと関係ないので、行政間で協力して管理が出来るようにして頂きたい。</p> <p>また、「交通マスタープラン」は「都市計画マスタープラン」の様な法的根拠はなく、市の交通施策の考え方を示す行政プランという位置付けである。この交通マスタープランを策定したら、すぐに事業が進むという訳ではない事を理解して頂きたい。</p> <p>【委員】多摩都市モノレール(八王子ルート)は次期整備路線として位置付けられており、導入空間が80%近く確保されていると聞いている。しかしながら、八王子市として絶対導入するという意思が感じられない。町田市や商工会議所では、多摩都市モノレールの延伸へ向けて組織を挙げて運動しているため、是非この計画の中で、多摩都市モノレールを八王子駅まで延伸について検討して頂きたい。</p> <p>最近、圏央道が整備され交通環境が良くなってきたが、リニア新幹線が橋本駅に選ばれるなど、このままでは八王子市が取り残されると危惧をしている。そのため、是非多摩都市モノレールの導入について検討して頂きたい。</p> <p>【委員長】モノレールのような新交通システムを導入するためには、供給に対して一定</p>
-------	--

の需要がないといけない。モノレールの場合、1時間に2～3万人輸送することができるが、需要が1,000～2,000人であった場合、既に高い料金がさらに値上がりする可能性もある。これまでのように右肩上がりの時代ではなく、今後需要が高まっていくという時代でもないので、この点を考慮して議論していく必要がある。

【委員】八王子駅南口では観光バスが毎日6～8時に路上駐車し、市民から何とかして欲しいとの要望が挙がっているため、道路拡幅などの対策を検討して頂きたい。

また、甲州街道の大和田橋～石川入口間で設置しているバス専用レーン（7～9時まで規制）についてだが、以前交通安全期間中に警察官を10名程度配置し、バス専用レーン内に一般車が進入しないよう1車線確保したが、路線バスも一般車も進まず、大渋滞を引き起こした経緯がある。本来、1車線をバス専用レーンとし、バスがスムーズに運行できるようにすればいいが、中々そのようにはならない。現在は守れない規制を放置している状況にあるため、警察としてはバス専用レーンを解除するように見直し検討を行っている。

さらに、八王子署管内ではひよどり山周辺の工事に伴う、ダンプが増加している。八王子署管内ではこれまでダンプによる事故は発生していないが、ダンプの通行量は美山東交差点で130台/時、道の駅前交差点で100台/時、楯原交差点で100台/時となっており、先週青梅市ではダンプによる事故が発生した。今後イオンの整備等がある中で、ダンプの重大事故の発生が懸念されるため、ダンプ対策も必要ではないかと考えている。

【委員長】工事に伴う大型車両については、環境アセスメント等で走行ルート等を確認していると思われるのでチェックして下さい。また、八王子駅南口の観光バスと、バス専用レーンの問題についてはご意見として賜われます。

【委員】本市の交通の主な課題として、高齢化に伴うバス乗り場などの利便性・快適性の向上が挙げられているが、高齢者にとってはバスを立って待つことも苦痛だと思われる・今後、高齢化が進む中で、時代に合わせた対応が必要ではないか。

【委員長】バス停を設置するために、今でも周辺住民と調整することがありますか。

【委員】あります。バス停を自宅前に設置することは迷惑とを感じる方も多い。

【委員長】この件については、バス事業者だけでなく、行政と連携して進めていく必要があるのではないかと。

【委員】バス停にベンチや上屋を設置するには、歩道の有効幅員が必要で、上屋では原則3m以上としているが、現実には限られた空間しかないことが多い。民地の活用や市などの関係機関と連携することで良い空間が出来るのではないかと。

【委員】これまで仕事で市内の幾つかの小学校へ行っていたが、小学校へ行く際、市内の路線バスは全て駅へアクセスしているため、殆どタクシーを利用していた。

陣馬街道から北八王子駅方面へは、途中に保健センターや、東海大学八王子病院、北原国際病院等が立地しているため、八王子駅と北八王子駅を結ぶなど八王子駅へ一極集中させるだけではなく、周辺を走る路線バスがあっても良いのではないかと感じている。

【委員】市内の路線バスは駅を中心に放射状にネットワークされており、ネットワークを考える上で、多くの利用者が見込めるなど採算性を考えないといけない。はちバス

では周辺の施設を一部カバーしているが、採算性等を踏まえつつ、今後の議論できればと考えている。

【委員】市内には320~330の町会及び自治会があり、22ブロックに分けて毎月1回会議を行っている。10月下旬には市長との懇談会を行い、町会自治会連合会6~7名と部長4名が参加し、駅周辺の一般車の乗入れができるよう要望した。

町会自治会連合会は、組織的な繋がりがあり、22ブロックの会議で伝達できる仕組みとなっているため、活用して頂きたい。

(3)八王子市における交通特性（資料4）について意見交換

【委員】この会議では市内の交通だけでなく、市外との交通の議論も必要だと認識しているが、主として市内の交通の議論をすべきなのか、あるいは市と周辺の自治体も含めた議論とすべきなのか確認したい。（周辺の自治体との連携を図っての検討などを考えたらどうでしょう。）

【事務局】市内々の動きは多いが、交通を取巻く状況は変化しており、圏央道は来年春には東名高速道路まで、2年後には東北自動車道まで開通される予定となっている。さらに、リニア新幹線等の整備が進む中で、市内々の交通の視点も重要であるが、産業活性化の観点などからも、市外も含めた視点で八王子市の交通をどのようにしていくのかの議論をして頂きたい。

【委員長】身近な交通や、幹線的な交通、市外の交通といった大きく3つの視点で議論して頂きたい。

【委員】八王子警察管内で昨年、交通事故は1300件発生している。2年前に交通事故を起こした方の現住所や勤務先を調べたところ、国道20号や国道16号などの広域幹線道路があるため、市外の方が多いと予想していたが、市内居住者や市内への通勤者が6割であった。このため、この方々を対象に、交通事故防止の対策を講じれば良いと考えていた。

本日の資料説明では市全体でも、6割以上の方が市内々の移動となっていたため、整合が取れることが分かった。非常に参考になった。

【委員】市の南側エリアには中央線や京王線、横浜線等の鉄道が運行しているが、北側エリアには鉄道が全くない。現状では道路拡幅や、路線バスの増加などは難しいため、例えば京王八王子駅から地下でサマーランド方面を連絡するなど、北側エリアにモノレールや地下鉄等の鉄道を導入して欲しい。

【委員長】地下鉄等の交通システムはあって悪いものではないが、利用者等が相応の負担して頂くことが必要ではないか。一般的には交通に係る費用で、所得の10%を超える負担を強いるのは難しい。

【委員】北部エリアは学生が多い。

【委員長】学生の多くは1年の半分しか学校に行かないため、1年間の半分で採算を成り立たすのは難しい問題である。是非皆様で知恵を出して、議論していきたいと思う。

【委員】鉄道については移動の便利さだけでなく、沿線地域と一緒にあって、住んでみたい沿線ブランドの向上を目指している。JR東日本では「中央線が好きだ。」というキャンペーンに取り組んでおり、地域の魅力を発掘し、ソフト的なイメージづくり

を目指している。なお、駅利用者数は最新のデータを示すことも可能である。

【委員長】利用者数のデータについては事務局で参考にして下さい。

鉄道会社はこれまで大規模な施設整備を進めてきたが、今は安全性や使い方というテーマが重要となってきている。公共交通とは何かと考えた時に、大量交通と公共交通は違うのではないかと思う。

これまで公共交通の利用者数は右肩上がりであったが、今後は山間部などでは路線バスでなく、タクシー等を上手に使うことも必要ではないか。また、鉄道については、ブランドづくりだけでなく、プラス α の施策が必要ではないか。

【委員】恩方地域などの山間部では路線バスに代わってタクシーを運行している。

【委員長】自家用車については今後様々な使われ方もあるかもしれないし、あまり既存の枠組みに捉われず、フレキシブルな発想で考えて欲しい。

【委員】これまでの計画では、四谷方面へのモノレールの導入等が掲げられているが、進展しておらず、西部地域等は東京都内にもかかわらず、陸の孤島となっている。

【委員】最近の若者は自動車を持つことがステータスとなっておらず、自動車離れが進んでおり、今後は買物難民が増えるのではないか。西部地域等では今後人口減少が進む中で、小さい交通を多角的に考えていく必要があるのではないか。

【委員長】小さい交通としてはセグウェイやミニカー、シニアカー等があるが、例えば高齢者の地域限定免許について地元から要望があれば、警察でも検討できるかもしれないと思うがどうか。

【委員】今後高齢化が進み、自動車や自転車に乗れない方が増えていく中で、高齢者の地域限定免許の考え方はあるが、それ以前に歩道の強化・充実をしないと導入は難しいと思う。

【委員】多摩都市モノレールの導入については、費用対効果だけで議論するのではなく、50年、100年を見据えて、街の中に何が必要かというスタンスで検討して頂きたい。新交通システムとはどのようなものか、現在どのような状況にあるのか。

【事務局】新交通システムについては都市計画マスタープランや総合交通体系整備計画にも記載されている。数年前に地下鉄やLRT、BRT等の導入について検討を行ったが、費用的な面等で実現化が進んでいない状況である。

計画をどのようにとりまとめるかは今後検討していくが、まちづくりの方向性や実現性等を踏まえ、導入の可能性についても議論して頂きたい。

(4) その他

【事務局】第2回の委員会は1月28日で調整させて頂きたい。日時等は後日事務局より開催通知を送付する。

5. 閉会

(仮称)八王子市交通マスタープラン検討委員会 名簿

(敬称略)

		氏名	プロフィール		専門分野 等
1	委員長	カシマ シングル 鹿島 茂	中央大学理工学部都市環境学科	教授	総括(学識経験者)
2	委員	ナカジマ シズオ 中島 静男	八王子市町会自治会連合会	副会長	
3	委員	ハセガワ ヒサシ 長谷川 久	公募市民		
4	委員	スズキ リツコ 鈴木 律子	公募市民		
5	委員	ミヤセ ムツオ 宮瀬 睦夫	八王子商工会議所		
6	委員	タムラ ヒサシ 田村 央	国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所	所長	広域交通
7	委員	ワタナベ ジェイ 渡邊 治平	東京都 建設局 南多摩西部建設事務所	所長	広域交通
8	委員	オオヤマ ミツハル 大山 光春	八王子警察署	課長	交通管理
9	委員	フルヤ コウイチ 古屋 幸一	高尾警察署	課長	交通管理
10	委員	ニシヤマ トオル 西山 徹	南大沢警察署	課長	交通管理
11	委員	ヒツカ トモナリ 肥塚 知成	東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社 総務部	企画 部長	鉄道
12	委員	タカヤマ ツネアキ 高山 恒明	京王電鉄株式会社 鉄道事業本部 計画管理部	部長	鉄道
13	委員	テラオ カズヒコ 寺尾 一彦	西東京バス株式会社 運輸部	部長	バス
14	委員	タテイ ツム 立石 努	京王電鉄バス株式会社 運輸営業部	部長	バス
15	委員	ミキ ナツキ 三木 健明	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部	部長	バス
16	委員	ウチダ リウ 内田 瞭	八王子市タクシー 合同営業運営委員会	会長	タクシー
17	委員	キウチ キヨコ 木内 基容子	八王子市総合経営部	部長	
18	委員	イトウ タツオ 伊藤 達夫	八王子市都市戦略部	部長	
19	委員	シムラ マサル 志村 勝	八王子市産業振興部	部長	
20	委員	ニシヤマ タダシ 西山 忠	八王子市道路交通部	部長	
21	委員長 代理	コマザワ ヒロユキ 駒沢 広行	八王子市都市計画部	部長	